

# KANSAI Univ. 関西大学通信 News

2010年  
11月15日  
第388号

*The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.*

『生物多様性保全につながる企業のみどり100選』に  
千里山キャンパスが選定

学園祭フォトグラフィー





## 第33回 統一学園祭「関大FEVER」11/4～11/7



### 統一学園祭実行委員会が「STOP THE DRUGS!!! THIRD STAGE」を実施

学園祭期間中、統一学園祭実行委員会が2008年度統一学園祭から実施している薬物啓発行事「STOP THE DRUGS」を実施しました。

当日は、特別テントブースをキャンパス内に設け、来場者に対して啓発パンフレットや実行委員会の学生が作成したピラを配布するなど、薬物乱用防止ならびにモラル、倫理の向上を呼びかけました。



### 経済学部が「ゼミナール関関戦」を開催

経済学部では、10月16日に関西学院大学経済学部と合同で「ゼミナール関関戦」を開催した。

2004年に開催した経済学部創設百周年の式典に、関西学院大学経済学部長に来賓として参加していただいたことをきっかけに、スポーツ以外の分野での関関戦の実現に向けた検討をはじめた。2007年には、関西大学のゼミナールが

関西学院大学で開催されている経済学部ゼミナール大会に参加する形で第1回の関関戦が行われた。

そして、これまで開催してきた大会の盛り上がりを受け、今年はじめて関西大学で開催されたことを機に、名称も「ゼミナール関関戦」と改めて、今後はスポーツと同様ホームアンドアウェイで毎年交互に継続的な交流を行うこととなった。

その新生第1回となった今回は、関大16ゼミ、関学8ゼミがプレゼンテーションとディベートに分かれてぶつかった。各ゼミ生たちは、日頃接することのない関学の学生と教授の前に日頃の研究成果を披露し、大いに刺激となったようである。手応えを感じた学生、勉強不足を痛感した学生、さまざまであったと思われるが、少なくとも何かを

得たことは間違いない。

(経済学部長 林 宏昭)



# 優勝者独占 インタビュー

11月4日から7日までの4日間、秋の一大イベントである統一学園祭が開催された。数ある企画の中でも、一際盛り上がりを見せた「Kandai Dance Fes.2010」、「K.U.ROCK FEVER 8th」、「お笑い王決定戦2010!」の優勝者に学生広報スタッフが直撃インタビューを敢行!

## Kandai Dance Fes.2010

多彩なダンスパフォーマンスで、会場はまさに大FEVER! ハイレベルなコンテストを制したのは、12チーム中12番目に踊った6人組のチーム『NAGA☆SPA』だった。

ダイナミックかつ繊細なパフォーマンスで見事優勝を勝ち取った『NAGA☆SPA』に、興奮冷めやらぬ中、直撃インタビュー!

リーダーの河村香澄さん(社4)は、「正直めっちゃ嬉しいです。トリをつとめる緊張はあったけど余計優勝したくなりました。表情が大事なので目で魅せようということ意識しました。」流し目スパイス、略して『NAGA☆SPA』。メンバーは全員4年次生なので、この学園祭が最後のステージ。卒業記念になったと話す彼らは、関大に感謝の言葉を残してくれた。「関大よ、青春をありがとう!」



息がぴったり合った動きで観客を魅了



表彰式で喜びを爆発させる『NAGA☆SPA』

## K.U.ROCK FEVER 8th

今年で8回目となる音楽の関大頂上決戦。観客とプロのミュージシャンが審査を行い、トーナメント方式で勝敗を決定する。爽やかな秋空のもと、6組による熾烈な戦いが繰り広げられた。

そして見事栄冠を勝ち取ったのは、躍動的なステージングで多くの観客を魅了した『KIDS』。奥野涼さん(Vo.Gt)、藤村倫さん(Ba.Cho)、植田隼人さん(Gt.Vo)、片貝直也さん(社2)(Dr.Cho)から成る4人組ロックバンドだ。関西を中心に行っているライブ回数は200回を超え、ワンマンライブも敢行するなど、今で結成5年目を迎える実力派である。4人の絆が生み出す安定感のある演奏と、心に響くストレートな歌詞が印象的だ。観客を自身の世界に引き込むハスキーな歌声も胸を打つ。

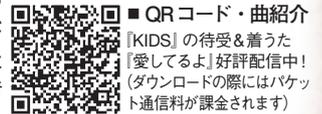
そんな彼らの今後の目標とは。「僕らに関わった人が自慢できるようなバンドになりたいです。ライブでは毎回違った『KIDS』を見せられたらと思う。ずっと音楽を続けていきたいです。」



ライブの様子



『KIDS』のメンバー



■QRコード・曲紹介  
『KIDS』の待受&着うた  
『愛してるよ!』好評配信中!  
(ダウンロードの際にはハッシュタグが課金されます)

## Laugh and Peace お笑い王決定戦 2010! ～あなたの笑顔が世界を救う～

今年が記念すべき第1回開催となるこの企画は、観客から寄付金を募り、児童労働撲滅を掲げるNGO団体ACEに全額送金するという、お笑いとチャリティの融合企画だ。

接戦を勝ち抜き、見事初代お笑い王に輝いたのは、大中原照吾さん(経1)と、双子の兄弟飯田将光さん、浩光さんと結成された漫才トリオ『あちこちの怪物』だ。3人の予定がなかなか合わない中、深夜に集まりネタ作りに励んだ。ネタは普段の会話から生まれるそうだ。「勝因は、仲の良さです」と答えてくれたように、3人の言葉の掛け合いは息ぴったり。小学校からの知り合いだという仲の良さが表れた漫才で、見ている側を楽しみ気分させる。

終始笑いが絶えなかった会場。この日の笑いが、世界のどこかに笑顔を届けるだろう。



ステージの様子



『あちこちの怪物』のメンバー

企画・編集: 学生広報スタッフ 菅原直亮(情3)、富田千裕(社3)、賀田竜有(政策4)、野口美保(社3)、東優也(文3)、松尾友喜(文1) 協力: 2010年度関西大学統一学園祭実行委員会 統一企画構成委員会

## KUカレンダー 11/16-30

| 日程       | イベント・行事名                           | 主対象       | 問い合わせ先              |
|----------|------------------------------------|-----------|---------------------|
| 17日(水)   | 中村桂子客員教授講演会                        | 学生・教職員・一般 | 理工系オフィス             |
| 18日(木)   | 寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催) | 学生・教職員・一般 | G-COE 拠点事務局         |
|          | 公開講座フェスタ2010                       | 一般        | 社会連携部               |
| 19日(金)   | ヨコ・ゼッターランド客員教授講演会                  | 学生・教職員・一般 | 堺キャンパスグループ          |
|          | 商学部講演会                             | 学生・教職員・一般 | 経商オフィス              |
| 20日(土)   | 人権問題研究室 国際シンポジウム                   | 学生・教職員・一般 | 人権問題研究室             |
|          | 第30回「地方の時代」映像祭・贈賞式                 | 学生・教職員・一般 | 高大連携グループ            |
| 21日(日)   | 第30回「地方の時代」映像祭ワークショップ              | 学生・教職員・一般 | 高大連携グループ            |
|          | 第30回「地方の時代」映像祭受賞作品上映(～26日)         | 学生・教職員・一般 | 高大連携グループ            |
| 22日(月)   | 政策創造学部 招へい講演会講演会                   | 学生・教職員・一般 | 政外オフィス              |
|          | 東西いのちの文化フォーラム2010                  | 学生・教職員・一般 | 堺キャンパスグループ          |
| 23日(火・祝) | 法学研究所 第88回特別研究会                    | 学生・教職員・一般 | 研究所事務局              |
|          | 秋季人権啓発行事                           | 学生・教職員・一般 | 学長課                 |
| 24日(水)   | 総合情報学部講演会                          | 学生・教職員・一般 | 総合情報学部オフィス          |
|          | 東京センター公開講座                         | 一般        | 東京センター              |
| 25日(木)   | 寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催) | 学生・教職員・一般 | G-COE 拠点事務局         |
|          | 人権問題研究室 第64回公開講座                   | 学生・教職員・一般 | 人権問題研究室             |
| 26日(金)   | 関西大学次世代経営者塾オープンセミナー                | 一般        | 社会連携部               |
|          | 関西大学トップマネジメントフォーラム(東京センター)         | 学生・教職員・一般 | 東京センター              |
| 27日(土)   | 第30回「地方の時代」映像祭受賞作品上映会(東京センター)      | 学生・教職員・一般 | 東京センター              |
|          | 経済・政治研究所 第4回公開セミナー                 | 学生・教職員・一般 | 研究所事務局              |
| 27日(土)   | 青木盛久客員教授講演会                        | 学生・教職員・一般 | 国際部                 |
|          | シンポジウム「ウェークアップ! ぶらす」               | 学生・教職員・一般 | 「ウェークアップぶらすLive」事務局 |
| 27日(土)   | 東西学術研究所 研究例会                       | 学生・教職員・一般 | 研究所事務局              |
|          | 関西大学サタデーカレッジ(～12月18日までの毎週土曜日)      | 学生・教職員・一般 | 社会連携部               |
| 28日(日)   | 大学院総合情報学研究所 G P 国際シンポジウム           | 学生・教職員・一般 | 総合情報学部オフィス          |

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。

詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

## 東京で関西4大学学長フォーラムを開催

10月31日、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学の学長による「関西4大学学長フォーラム」が東京で開催された。

今年のテーマは「次代を担うリーダーを育てる—関西4大学の提言」。パネルディスカッションでは、4大学の学長が次代を担うリーダーを育てるためにどのような教育を行い、どう人間力を育成していくのかを考え、これからの大学の人材育成について提言する形で進化した。

楠見晴重学長は、長期ビジョンになぞらえ「自分で考え行動する力を重視している」と高校生をはじめとする多くの参加者に語りかけた。

パネルディスカッションの前には、4大学の卒業生が自身の学生生活を振り返りながら、大学で学んだ

ことや経験が社会でどれだけ生きているかを語るトークセッションや、作家の重松清氏による基調講演も行われた。

フォーラムを通じて、学生が自分を磨くためにどのような意識で学ぶべきか、そして夢や希望の大切さなどについてあらためて考え、次代を担うリーダー像とはどうあるべきかを今一度考え直す貴重な機会となった。



パネルディスカッションの様子

## 法科大学院が関大法曹会と覚書調印

関大法曹会は、関西大学または関西大学法科大学院出身の法曹有資格者（弁護士、裁判官および検察官など）を会員（平成22年10月時点で580人）とする職域団体であり、関西大学法科大学院の設立以来、関大法曹会から在学生に対する多数の図書や寄贈、司法試験合格者に対する司法修習前の事前

弁護士研修や弁護士事務所への就職活動支援など多大な支援を得てきた。これらの実績を踏まえ、本年10月12日、法科大学院と関大法曹会は、法科大学院の教育理念に基づき、理論と実務の調和がとれた高度な専門性、優れた人権感覚をもつ人間性、新たな問題に適切に対応できる創造性を備えた法

曹の養成を目的とし、「関西大学法科大学院法務研究科と関大法曹会との連携協力に関する覚書」の調印式を執り行った。

今後は、これまでの関大法曹会からの支援事業に加え、共催による講演会、研究会等の開催、共同研究事業の立案、実施など連携強化を図る。（専門職大学院事務グループ）

## 高橋幸介さんが「地域若者チャレンジ大賞」にて表彰

9月12日、東京・丸ビルホールにて開催された「チャレンジ・コミュニティ2010」（主催：NPO法人ETIC）において、高橋幸介さん（商4）が「地域若者チャレンジ大賞」の関西地域ブロック代表者として表彰された。

この大会は、地域連携に積極的に取り組む企業と、全国各地域で長期（6ヶ月以上）の実践型インターンシップを行った学生がプロジェクトの企画を披露し、

取組成果や社会的意義・自身の成長をプレゼンテーションし、その取組を評価する大会として開催されたものである。

プロジェクトは全国で約400以上あり、全国を8つの地域に分けて、その地域の中で最も評価された代表者が8分間のプレゼンテーションを行い全国一を争った。

高橋さんがインターンシップをしたのは有限会社上田。同社は、創業75年の歩

みを継承し、梅酒を強みにするまちの酒屋。ここで昨年8月から今年の3月までインターンシップを行った高橋さんに課せられたものは、毎年2月に大阪天満宮で開催される、日本一の梅酒を決めるイベント「第四回天満天神梅酒大会」の企画・運営だった。高橋さんは企画の概要から当日までの運営に至る全ての仕事を任された。全国各地には色々な梅酒があり、地域に根ざした梅酒の素晴らしさを多くの人に知ってもらおうと、全国の酒蔵5,000社以上に案内状を送り、賛同を呼び

かけた。同時に、大阪天満宮をはじめ天神橋筋商店街にも企画の主旨を説明し、協力を取り付けるなど自分で考えうる全ての方策を実践し、最終的に157社、242銘柄の参加を取り付けた。高橋さんは「このインターンシップを通じて、とことん自分自身と向き合うことができた。今後さまざまな取組にチャレンジしたい」と抱負を語った。



## 自転車盗難防止を呼びかける「2LOCKキャンペーン」を開催

10月20日、ボランティアセンターならびに学生有志が中心となり、自転車の盗難防止を呼びかける「2LOCKキャンペーン」を千里山キャンパスで実施した。

これは、今年も10月11日から20日まで都道府県防犯協会と都道府県警察が連携し、「みんなでつろう安心の街」をメインスロー

ガンに全国地域安全運動が展開され、本学もこの主旨に賛同したものである。

キャンペーンでは、丈夫なシリンダー錠の施錠だけでなく、ワイヤー錠などをかけて「2LOCK」にすることで自転車盗難防止強化につながることを参加者に説明し、シリンダー錠を配布した。

このキャンペーンに参加した川名早貴さん（法4）は、「自転車の盗難防止への意識を一人ひとりが高めていく機会になってほしい」と語った。

川名さんは、吹田市内でも防犯を呼びかけるキャンペーンに積極的に参加するなど、その取組が評価されている。10月4日には吹田市長を表敬訪問し、今後の防犯活動に際して激励を受けた。また、10月12日には、吹田警察署長から防犯活動参加促

進に努めた功績として感謝状が授与された。



吹田市長（写真中央）から激励を受けた川名さん（写真左から2人目）

## 薬物に関する意識調査の集計結果報告書を公表

関西四大学（関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学）では、健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、社会的な活動が大学の使命と考え、2009年3月に薬物乱用防止に関する共同声明を発表した。

その具体策として、四大学共同のアクションプランを企画し、「委員会の設置・開催」「教育・調査活動」「広報活動」を柱に、各大学において啓発行事など

さまざまな取り組みを実施している。本年4月には関西四大学の入学生を対象に薬物に関する意識調査を実施したところ、合計20,088人から回答があり、その回答を「関西四大学『薬物に関する意識調査』集計結果報告書」としてまとめ、10月21日に公表した。

関西四大学は、この調査結果を基に慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育・啓発活動を展開していく。

## 『生物多様性保全につながる企業のみどり100選』に千里山キャンパスが選定

10月11日から名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に合わせ、『生物多様性保全につながる企業のみどり100選』（主催：財団法人都市緑化基金、後援：国土交通省、日本経済団体連合会、日本経済新聞社）の第2次募集が行われた。

その結果、優良事例34選が認定され、企業緑地部門として千里山キャンパスが選ばれた。

千里山キャンパスは「丘の森のキャンパス」として緑地環境の維持をめざ

し、新植する樹木はクスノキやアラカシなど吹田の植生に配慮した計画を行い、複数の新築建物の屋上にも緑化を施した。アオスジアゲハやヤマトシジミなどのチョウをはじめ多くの生物が生息する多様な生態を維持している。



## 文部科学省から本学がスポーツ功労団体表彰

文部科学省がスポーツ振興に向けた企業・大学などの取組をさらに促すことを目的に、五輪選手などの育成で成果を上げた企業、大学などを対象とした「スポーツ功労団体表彰」を新設した。世界的規模のスポーツ大会において優れた成績を挙げた選手が所属する本学がその団体表彰を受け、11月1日に行われた表彰式で本学に賞状と記念品が贈られた。